

# 消防本部

(単位:千円)

款	項	目	細目	細目名	概要説明	R2当初 予算額	R元当初 予算額	R2当初予算額の財源内訳			
								国県支出金	市債	その他	一般財源
<b>消防総務課</b>											
9	1	1	25	救急救命士養成費	救命率の向上を図るため、高度救命処置に対応できる救急救命士を養成します。令和2年度は、現職の消防吏員1名を救急救命東京研修所に入所させます。	4,525	4,968				4,525
9	1	2	18	消防団員募集啓発事業費	新たに作成した消防団活性化計画の実現に向けた活動を目指すとともに、平成29年度に制定した「学生消防団活動認証制度」を普及促進して、消防団員の確保を積極的に進めます。 また、消防団公式キャラクター「ショーカちゃんとホースくんのうたとダンス」を活用して、幼児期防火教室の一層の普及啓発を行い、新たな消防団活動をPRしていきます。	537	537				537
9	1	3	33	北消防署移転整備事業費	老朽化した北消防署庁舎の再建築に関して、適正配置も含め研究し消防体制の充実強化を図ります。 令和2年度は北消防署建設予定地の測量、鑑定を実施します。	2,835	0				2,835
<b>予防警防課</b>											
9	1	1	24	応急手当普及関係費	平成21年度から毎年度継続している「救急救命講習受講者1万人」の達成を目標に更なる救急救命体制の強化を図り、救命率の向上を目指します。充実した講習内容とするため、指導體制の改善(ソフト面)及び必要資器材の購入(ハード面)をします。 屋外設置等24時間使用可能なAEDを設置すると共に、市内に設置しているAEDの耐用年数が迫っているため、更新整備を行います。	6,223	8,124				6,223
9	1	2	9	災害出動関係費	消防団の装備の基準の改正により、順次、各種装備品の充実を図り、災害対応力を強化します。令和2年度は、国庫補助(消防団施設整備補助金)を活用しデジタル登録局トランシーバーを団本部と各分団に配備します。	2,489	1,139	829			1,660
9	1	3	22	非常備消防車両購入費	消防車両の更新計画に基づき、老朽化している2車両を順次更新整備します。 (1)笠原第2分団ポンプ車 (2)滝呂台分団ポンプ車	41,081	0		28,000		13,081

款	項	目	細目	細目名	概 要 説 明	R2当初 予算額	R元当初 予算額	R2当初予算額の財源内訳			
								国県支出金	市 債	その他	一般財源
<b>通信指令課</b>											
9	1	1	31	通信指令管理費	平成23年に導入した、高機能消防指令システムの適切な維持管理にあたり、電源設備、基地局設備及び移動局無線設備のバッテリーなどの取替等を、更新計画に基づき実施します。また、119番通報受信や無線交信などの音声データを記録する長時間録音装置の更新周期(10年)を超えることから、本体の更新を実施します。 共同運用実現に向け、消防指令業務の共同運用に関する調査検討会運営部会圏域会議に参加します。	33,470	21,305				33,470